

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 7-3-6	事務事業名 地域活性化事業補助金	所管部課 生活文化スポーツ部産業振興課
----------------	---------------------	------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	空き店舗を活用した東伏見ふれあいプラザにおいて、市が地元運営団体(東伏見ふれあいプラザ企画運営委員会)に対して地域活性化事業補助を行うことにより、市民に行政サービスや地域を活性化するためのサービスを提供することを目的とする。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等/補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 【補助の概要】 東伏見ふれあいプラザの事業スペースにおける地域活性化のための事業への補助として、賃料相当分を東伏見ふれあいプラザ企画運営委員会に対し交付する。 【主な地域活性化事業】 ①主催事業(地域の農業者による農産物の販売) ②一般団体への貸出(写経教室・体操教室など) (予算事業名07.01.02.04 東伏見ふれあいプラザ運営費(地域活性化事業補助金))	
事業開始時期	平成23年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費(A)		1,200	1,440	1,440	1,440
財源	千円				
国庫支出金・都支出金					
地方債					
内 其他 ()					
財源		1,200	1,440	1,440	1,440
所要人員(B)	人	0.45	0.45	0.45	0.45
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	3,674	3,464	3,571	3,695
臨時職員賃金等(C')	千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	4,874	4,904	5,011	5,135
単位当たりコスト					
(E)=(D)/ (地域活性化スペースでの事業件数)	千円	74	23	17	

活動等指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
①運営日数	実績値 日	230	308	307	
②地域活性化スペースでの事業件数	実績値 件	66	216	292	
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
①運営日数については、休館日:毎週月曜日(祝日を除く。)、年末年始 ※月曜日から祝日が連続する場合は、祝日明けの平日が休館日。(平成23年7月2日開館)					
②事業件数については、地元農産物の販売などの委員会主催事業のほか、一般団体への貸出しによる各種教室などの事業で利用している。					
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
一次 地域活性化スペースの稼働率	目標値				
	実績値 %	9.6	23.4	31.7	
二次	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
1日当たり3コマに運営日数を乗じ、地域活性化スペースでの事業件数から除した割合。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	毎週金曜日に開催される農産物の即売会には多数の市民が訪れている。平成23・24年度に実施した利用者へのアンケートでは、今後は「地域の交流事業」や「早稲田大学との連携事業」を望む声があり、利用者の多くは当施設について「必要」と回答している。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	他自治体では、当施設と類似するような取組みは見受けられない。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	市内の他駅周辺には公共施設が設置されており、施設貸出や各種行政サービスの拠点となっている。

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	継続実施	<p>平成25年度の行革本部評価では、「地域活性化スペースでの事業件数の増加と地元野菜等の販売等、委員会独自の取組みが行われていることに対して評価された一方、地元が必要とするサービスを議論していることを踏まえ、地域活性化の取組みがより一層増加していくことを期待する。」との指摘があった。</p> <p>このような中で、地元農産物等の販売のほか一般団体への貸出しを行うなどの工夫により、幅広い年齢層の利用も増えていることから、地域活性化スペースを活用した事業数が増加している。</p> <p>今後は、更に地域活性化スペースを活用した事業の検討を進めるとともに、アンケートにもあった早稲田大学との連携なども含め、市民ニーズに沿った取組みを行う必要がある。</p> <p>東伏見駅周辺は市内の他の4駅と比較すると、公共施設が不足している地域であったが東伏見ふれあいプラザを開設したことで、地域住民の利便性の向上が図られ、地域振興にも寄与していることから、継続実施と判断する。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	2		
B	直接のサービスの相手方	3		
	事業内容等の適切さ	3		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	継続実施	<p>東伏見ふれあいプラザは、空き店舗(約80㎡)を活用し、地元市民を中心とした運営団体が地域活性化を目的とした事業を行う拠点であるとともに、地域に不足している行政サービス提供のための住民票等自動交付機や自動貸出機能付きの図書館利用者用検索機などが設置され、総合型地域スポーツクラブ「ココスポ東伏見」の事務所としても利用されている。</p> <p>本事業は、このうち、地域活性化を目的とした事業スペース(約40㎡)の管理事業に係る家賃及び共益費の全額を市が補助するものである。</p> <p>平成25年度に行われた行革本部評価から間がないながらも、事業スペースを利用した事業数や事業スペースの稼働率が順調に増加していることは、運営団体の活動が良好に機能しているからであると判断できるため、引き続き、地域活性化に資する事業のスペースとして有効利用されることを期待して、本事業は継続実施と評価する。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方	2		
	事業内容等の適切さ	3		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
対象外	

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
継続実施	<p>本事業は、東伏見ふれあいプラザのうち、地域活性化を目的として事業スペースの管理事業に係る家賃及び共益費の全額を補助するものである。</p> <p>本事業スペースを利用した事業数及び事業スペースの稼働率が順調に増加していることは、評価できることである。</p> <p>今後は、地域活性化に資する事業スペースとして、さらなる有効活用につながるよう、必要な支援に取り組みたい。</p>

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	<p>開設から3年が経過し、地元産農産物の販売や、各種教室の開催により着実に稼働率を上げている。今後は、早稲田大学との連携等を図ることで、地元における地域資源を活かした新たな活用方法を検討する。</p>
---------------	---